

汎用軽油

Diesel Fuel

主 管：車両審査実験部
材料開発第二課
制 定：1987 年 1 月 29 日
最終改：2010 年 10 月 29 日
確 認：2015 年 8 月 1 日

1 適用範囲

この規格は、当社出荷車両充填用、内燃機関の運転用、又は車両の一般走行用などに用いられる汎用軽油の性状について規定する。また、本規格に規定される汎用軽油は、『揮発油等の品質の確保等に関する法律』の強制規格に規定される脂肪酸メチルエステル含有量が質量比 0.1 %以下のものをいう。

2 種 類

汎用軽油は、流動点により表 1 に示す 5 種類に大別される。

3 品 質

汎用軽油は、内燃機関用の燃料として適切な品質を有するものであり、水、沈殿物などを含まず、かつ、表 1 に示す試験法にて測定を実施した際、各々に示される規定に適合した性状を有していなければならない。

表 1 汎用軽油の種類並びに品質

項 目	単 位	D - S1	D - 1	D - 2	D - 3	D - S3	試験方法
密度(15℃)	g / cm ³	0.86 以下	←	←	←	←	JIS K 2249
動粘度(30℃)	mm ² / s	2.7 以上	←	2.5 以上	2.0 以上	1.7 以上	JIS K 2283
引火点	℃	50 以上	←	←	45 以上	←	JIS K 2265
硫黄分	質量 %	0.0010 以下	←	←	←	←	JIS K 2541
10%残留炭素分	質量 %	0.1 以下	←	←	←	←	JIS K 2270
CFPP	℃	—	-1 以下	-5 以下	-12 以下	-19 以下	JIS K 2288
流動点	℃	+5 以下	-2.5 以下	-7.5 以下	-20 以下	-30 以下	JIS K 2269
蒸留性状							
初留点	℃	報告	←	←	←	←	JIS K 2254
10%留出温度	℃	報告	←	←	←	←	JIS K 2254
50%留出温度	℃	報告	←	←	←	←	JIS K 2254
90%留出温度	℃	360 以下	←	350 以下	330 以下	←	JIS K 2254
終 点	℃	報告	←	←	←	←	JIS K 2254
セタン指数	—	50 以上	←	←	45 以上	←	JIS K 2204
色相(ASTM)	—	報告	←	←	←	←	JIS K 2580
脂肪酸メチルエステル	質量 %	0.1 以下	←	←	←	←	告示第 78 号

4 環境負荷物質

使用制限及び報告義務のある物質は、**ISC-A00-008Y** による。

5 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発行年を付記しているものは、記載の年版だけがこの規格を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発行年を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。

ISC-A00-008Y	部品への使用制限や報告義務のある物質
JIS K 2204	軽油
JIS K 2249	原油及び石油製品－密度試験方法及び密度・質量・容量換算表
JIS K 2254	石油製品－蒸留試験方法
JIS K 2265	原油及び石油製品－引火点試験方法
JIS K 2269	原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法
JIS K 2270	原油及び石油製品－残留炭素分析方法
JIS K 2283	原油及び石油製品－動粘度試験方法及び粘度指数算出方法
JIS K 2288	石油製品－軽油－目詰まり点試験方法
JIS K 2541	原油及び石油製品－硫黄分試験方法
JIS K 2580	石油製品－色試験方法
平成 19 年経済産業省 告示第 3 号	揮発油等の品質の確保等に関する法律施行規則の一部を改正 する省令
平成 19 年経済産業省 告示第 78 号	軽油中の脂肪酸メチルエステル又はトリグリセリドの濃度の 測定方法

6 付 則

- この規格は、2010 年 11 月 8 日から施行する。
- この規格の施行により 1996 年 3 月 22 日改正の ISC-C74-201A を廃止する。

関連標準： ISC-C70-002Y 燃料油通則

[2010 年 10 月 29 日改正の要点]

- JIS 規格と整合するため以下に項目を変更した。
 - JIS 規格に準拠し、密度の規定を追加。
 - JIS 規格に準拠し、硫黄分の規定を改定。
- 汎用軽油として、『揮発油等の品質の確保等に関する法律』の強制規格に規定される脂肪酸メチルエステル含有量、いわゆるバイオ燃料の含有量規定を追加した。